不要なゴミを
綺麗なアクセサリーへ

making accessory from trash

～自分たちの地域を綺麗にしたい～

なぜこのような 事業をやろうとしたか

掛川工業高校への登下校の道中でゴミがよくポイ捨てされておりどうにかできないかと思ったから

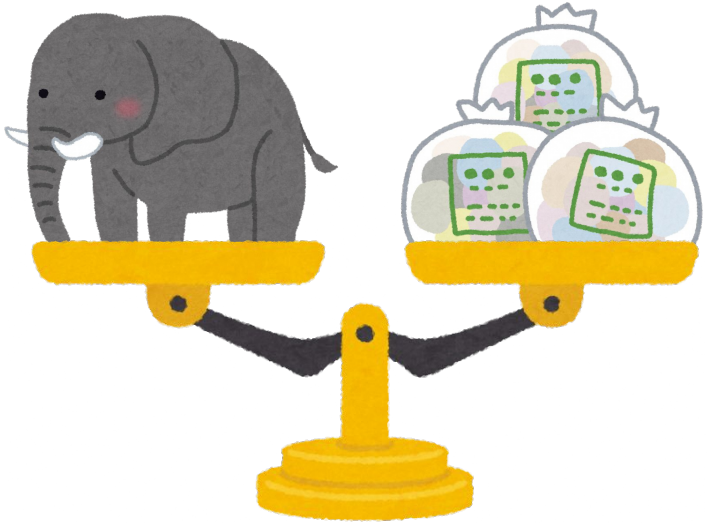
掛川市内にあるポイ捨てされたゴミ

2022年の掛川市海岸ゴミ拾い

参加人数　約3,500人

⇨10km内にＩ時間で約5.5トン

(↑掛川市の海岸の距離)



アフリカ象一頭に相当する！！

11月31日掛川市内プロギングの結果

参加人数:55人

実施時間:1時間弱

距離　:計6km

総回収量:5.7kg

計算をしてみる

6km歩いたり走ったりして集めて5.7kg集まった→約6kgとする

つまり単純計算1kmに1kgのゴミが落ちていることになる

掛川市の一般道路の総距離は約1570km

つまり掛川市の道路上には約1570kgのゴミが、

掛川市の海岸には約5.5tのゴミが落ちていることになる！

ゴミが落ちていると・・・？

・景観が損なわれ、自然や街の美しさが失われる

・悪臭や害虫（ハエ・ゴキブリ・ネズミなど）が発生する

・細菌やウイルスが繁殖し、病気の原因になる

・清掃や処理に更にコストがかかる

・「ゴミを捨ててもいい」という雰囲気が広がり、さらにポイ捨てが増える

・モラルや公共マナーの低下につながる

などのたくさんの**デメリット**が起こる！

この大量のデメリットをメリットに
変えて掛川をより良い街にしたい！

・自分たちの手で街をきれいにする
・ゴミ拾いを通して市民の交流が増える
　コミュニケーション

事業の全体像

ゴミ拾い

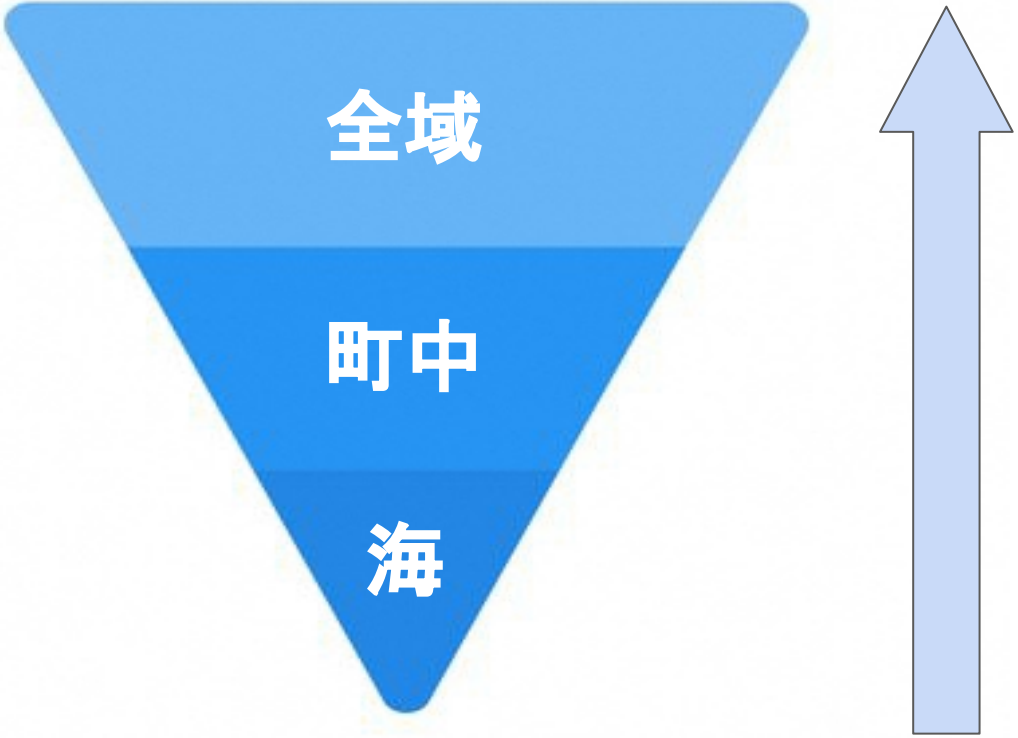
シーグラスや
マイクロプラスチックを
アクセサリーに

使えないものは
リサイクルor処分

ゴミに興味を持っ
てもらえる

このサイクルを繰り返すことでゴミが減っていく

活動範囲フェーズ１～３　　掛川市内



フェーズ1

海岸清掃

日時　8月15日(長期休みの終盤)

人数　20人想定

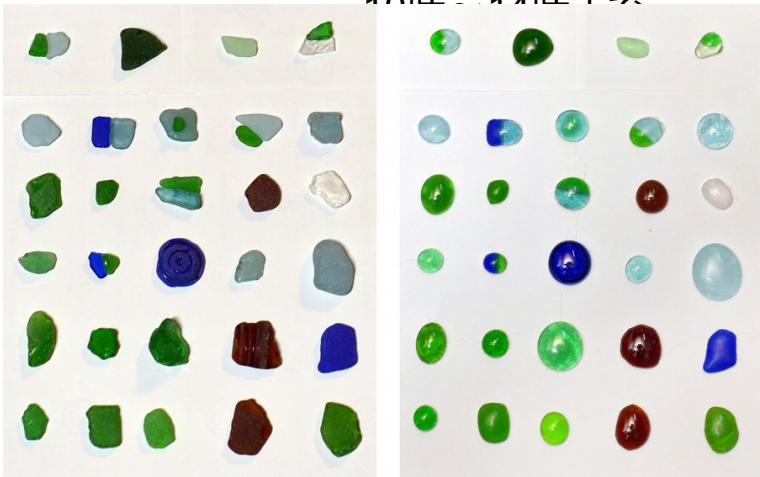
内容　10時～11時まで海岸清掃

11～13時まで釣り、昼食

（↑釣った魚を食べれる）

13時～14時までアクセサリー作り

befor → after



フェーズ2

会場：掛川（町中）

時間：早朝（朝10時）から昼まで（午後3時）

内容：町中でゴミを集め、アクセサリーを作る。　掛川市内のガイドをし、掛川市についてもゴミについても知ってもらう

フェーズ3（最終目標）

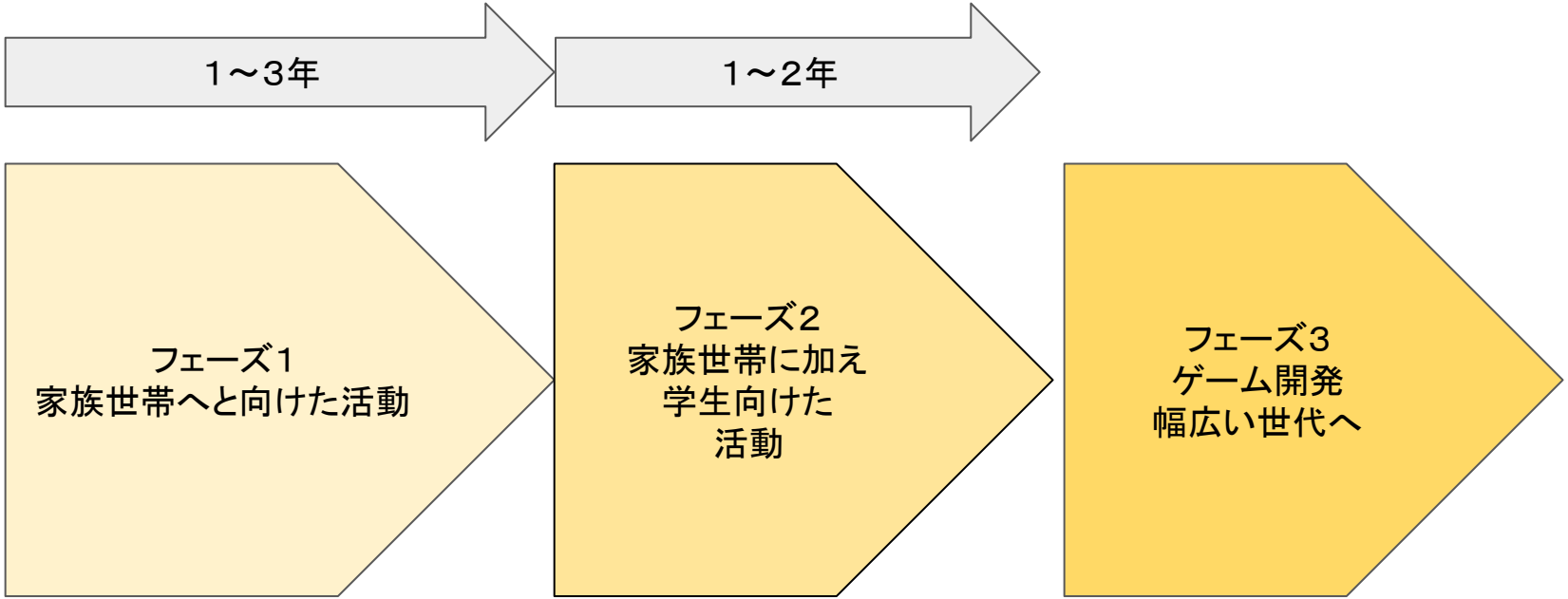
会場：全域（決まりなし）

内容

・イベントがなくても個人でゴミを回収するようになる

・自分たちの特技を活かしゴミ拾いアプリ（ゲーム風）を作る ⇨ゲームが好きな小中学生が楽しみながらゴミ拾いをするようになる

スケジュール


1～3年
1～2年
フェーズ1
家族世帯へと向けた活動
フェーズ2
家族世帯に加え
学生向けた
活動
フェーズ3
ゲーム開発
幅広い世代へ

予算　フェーズ1

ゴミ袋	¥100	45リットル×30
ルーター	¥18，000	ホビー用ルーター ×3本
アクセサリー材料	¥4,500	パーツ等
工具他	¥6,000	ラジペン、ニッパー等
釣り用具	¥140,000	一人あたり7000程度とし、 参加人数20人と想定

一人あたりにかかる料金＝￥168,600(合計)／20(人数)
＝￥8,430

予算　フェーズ2

ゴミ袋	¥100	45リットル×30	
軍手	¥1000	20組	
アクセサリー材料	¥4,500	パーツ等	
工具他	（¥6000）	ラジペン、ニッパー等	フェーズ1で破損した分のみ

一人あたりにかかる料金＝￥12,500(合計)／20(人数)
＝￥625

予算　フェーズ3

ゲーム開発	¥30万	↑フェーズ1，2 で稼いだならその 分もゲーム開発に つぎ込む	
ウェブページの作 作成	0	ゴミについて学べ る	

ご静聴ありがとうございました